

## お知らせ

- ・ アメニティ・アカデミー 第 期セミナー第3回 6月8日(土) 草志舎
- ・ 建物の保存を考える in Tokyo 6月15日(土) 鎌倉
- ・ 畑儀文の合唱教室 6月17日(月) 草志舎
- ・ ヴォーリス建築文化全国ネットワーク大会 6月22日(土) 京都
- ・ 名建築と音楽シリーズ 深川和美 at 北野異人館 コンサート 7月20日(土) 北野キャセリハウス

### **予告1** <第23回名建築と音楽シリーズ> 深川和美 at 北野異人館 コンサート

ソプラノ歌手深川和美さんのコンサートです。会場は神戸市北野異人館街にあるキャセリハウス。有名なハンセルの設計で1899年に建てられた住宅を修復して、イベント会場として使っている建物です。広い庭になかに瀟洒な姿を残す異人館で、美しい歌とお茶をお楽しみください。

日時 7月20日(土) 午後2時(1時半開場)  
出演 深川和美(ソプラノ歌手) 多久雅三(ピアノ伴奏)  
参加費 会員 3,000円 一般 3,500円 (お茶つき)  
定員 60名(要予約) 定員に達し次第しめきります。  
詳細は同封の案内チラシあるいはホームページをごらんください。



### **ご報告1** アメニティ・アカデミー 第 期セミナー第2回 5月11日(土) 草志舎

4月に続いて清水理事長を講師にむかえ、「アメニティ 2000 協会の歩み」を語ってもらいました。2回を通じて、新しい会員の方々には「へえ、そうだったのか」「そんなこともしていたのか」と感じられることも多く、また古くからの会員の方にも「そうそう、あの時はそうだったね」と記憶をほりかえす思いで聞きました。



### **ご報告2** 2013年度通常総会 5月18日(土) 草志舎

2012年度の報告と2013年度の計画をかたりあう総会ですが、大勢が参加下さって開かれました。議案はすべて承認され、これで新年度の活動が本格始動することになりました。

総会後の会員交流会もなごやかににぎやかに、持ち寄りの料理と飲み物を楽しんでいただきました。



### **予告2** 第3回 神戸ワーキングホリデー

トラスト・ユース・センターの活動の一つとしてこの夏ワーキングホリデーを次のように開催します。今回は日本在住の留学生と日本人学生との交流をテーマにしています。

月日 8月6日(火)～9日(金)  
場所 ヴォーリス六甲山荘  
定員 留学生5名 日本人学生5名  
参加費 12000円

すでに案内チラシは総会資料と一緒に送りしておりますが、どうぞお知り合いご案内ください。チラシがもっと必要でしたら送りいたします。



ベンガラ塗りの作業(2012年)

### ご報告3 畑儀文の合唱教室 5月20日(月) 草志舎

2回目の今回は参加者の皆さんの緊張もとけ、楽しさが一層まっているようでした。畑儀文さんの独唱も聞かせていただけるすてきなひと時です。

### ご報告4 チャリティ・オープンガーデン 5月25日(土) 正司邸

晴天でお庭の花も映える日でしたが、かなり暑くなりました。今回は飲み物は冷たいものを用意しましたが、大正解でした。来場者は251名。花を楽しみ、建物を楽しみ、音楽を楽しんで帰られました。

主催のN.G.S.ジャパンからは79170円の寄付をいただきました。  
スタッフの皆さん、暑いなかお疲れ様でした。



#### 【コラム】

#### 六甲山荘のウェディング

清水 順子

六甲山荘たよりでご報告しておりますが、6月のあたりに貸切でウェディングが行われました。まだ寒い時期に突然のお電話で「六甲山荘で結婚式をしたいのですが」とお問合せがあり、その後下見に来られて六甲山荘を気に入られ、ぜひにと申し込まれました。なぜ六甲山荘を選ばれたのですかとお尋ねすると、「森のなかのウェディング」というイメージで探していて、ネットでここを見つけましたとのこと。よくぞ見つけてくださいました！貸切で同窓会とかは何度かありましたが、ウェディングは初めて。自分のことではないけれど、興奮して、「ウェディングがあるのよ！」と運営委員会などで吹聴してしまいました。

下見、打ち合わせをかさねて、前日は1日かけて設営です。庭にはテントを張り、テーブルももちこみ、花もたくさん飾って、山荘が姿をかえていきます。こちらのスタッフも台所や冷蔵庫を整理し、邪魔になる家具や道具類を管理人室に避難させました。

当日一番心配していた空模様がなんとかもちこたえ、庭でのパーティーが予定どおり開かれました。お客さまは40名ほどだったようです。その楽しそうな様子は写真をごらんください。

初めての経験でしたが、私達にとってもいい勉強になりました。今後もこういうお申し込みがあれば、迷いなくお受けできます。皆さんのお知り合いに結婚予定の方がおられたら「六甲山荘でのウェディング」はいかがですか？

<アメニティ・アカデミー>

#### 第 期セミナー「会員なら知っておきたい基礎講座」

協会の設立の経緯、活動の流れなど12年間の歩みとその基となる理念について、会員の皆さんにもっとよく知っていただきたいというセミナーです。第2回は2008年以降の、とくに旧乾邸とヴォーリス六甲山荘の活動について語ります。

第2回 6月8日(土)午後2時~ 草志舎にて 「ナショナル・トラスト運動について」 講師 清水順子  
受講料 1回につき 1,500円 (お茶代込み)

#### 畑儀文の合唱教室

テノール歌手として第一線で活躍中の畑儀文さんは合唱の指導者としても定評のある方で、少人数での楽しい教室です。  
まだ少し余地がありますので、参加ご希望の方はお早くお申し出ください。

月日 2013年4月~2014年3月(8月はお休み) 第3月曜日(但し7月は22日、9月は9日)午前10時半  
6月は17日(月)

場所 草志舎(阪急西宮北口駅より徒歩3分)

参加費 11回通し 会員20,000円 一般25,000円 途中から参加(1回会員2,000円 一般2,500円)×残り回数

#### トラスト・ユース・センターからご報告

メールのある方にはすでにご案内していますが、このたびトラスト・ユース・センターの学生会員がFacebookをたちあげました。学生会員みずからの写真と文で発信します。会員の皆さんも「いいね!」をクリックしてください。これを見て若い人たちが関心をもって参加してくれるようになるとうれしいことです。

お薦めの本

J. R. ヒメネス著 長南実訳 「プラテロとわたし」

村上 勢津子

スペインのノーベル賞作家・ヒメネス(1881-1958)が、月のように銀色のやわらかい毛並みの驢馬プラテロに優しく語りかけながら、アンダルシアの明るく静かな田園生活の中で過ごした日々を138篇の散文詩に描いています。

紡がれる言葉の美しいこと！ 太陽、月、金と銀の糸の春の雨、花の香り、蜜蜂、蝶、果樹園、濃紫(こむらさき) 紅紫、緑、すみれ色、金や銀色の夕暮れの光、ばら色の曙、紅紫の流れ雲、小鳥の囀り、羊の群れの澄んで優しい鈴の音、夏の夕靄、川の白帆、緋色に染まった教会の塔、晩秋の雨は「神はいま水晶の宮殿においでだ」と表現され、冬の暖炉の炎は「金の踊りと影の踊りに包まれて」とつぶられる。

牧歌的な情景が優しさ、やわらぎ、穏やかさ、余韻に満ちて、「ねえ、プラテロ」「ごらんよ、プラテロ」「わたし」が幼かったころはね、プラテロ・・・といったふうに語り掛けられる。

ただ、副題に「アンダルシアのエレジー 1907 - 1916」と添えられているように、降り注ぐ薔薇色の陽光のなかで、時に病や老い、死、貧しさなどの影の部分も語られる。と言って、不思議なことに暗鬱さはなく、むしろ優しい安らぎを感じさせられる。例えば、鸚鵡がフランス語で「ス・ネ・リアン(だいじょうぶ)」と哀れな男に何度も喋りかける場面で、読者の私も柔らかく慰められる。残酷で哀れな死や弱い者へも作者の眼差しはやるせなく優しい。常に寄り添っていたプラテロもついには亡くなるけれど、「いとしいプラテロよ」とその魂を愛おしむ。

この本に満ちているのは生と死、愛、優しさ、きらめく陽光と厳かな静寂、そして何よりも安らぎと快さ。だから、この本をいつも傍らに置いておきたいと思う、そんな種類の本の一つです。いろいろな訳書があるようですが、私が読んだのは、バルタサル・ロボという人が描いた実に愛らしい挿絵のついた、長南実訳の岩波文庫のものでした。

おしゃべりアラカルト

アメニティ・アカデミー 第 期 基礎講座を受講して

山本 常雄

アメニティ 2000 協会には随分と早い時期に入会させて頂きましたが、なかなかプログラムに参加する時間が取れずに全くの幽霊会員でありましたが、トラストユースセンター立ち上げに際して企画委員を拝命し、さくら荘に顔を出すうちに丁度この基礎講座のあることを知り、10余年の歩みを2時限でおさらい出来る良い機会だと、非会員の友人と一緒に受講させて頂きました。

「名は体を表す」の通り会の名前が Amenity で、事業目的に賛同し、歴史的資産・建造物の保存、ナショナルトラスト運動、自然との共生、有機栽培...またヴォーリス大好き人間であれば、活動会員でなくても除名されることなく、居心地のいい会だと感謝しています。

今まで調査や見学会にも殆んど参加しておりませんが、旧乾邸は家からも近く、又むかし勤めていました会社が建設し、メンテナンスを行っていました関係から特に興味深く

推移を見守っていました。室谷邸や播半などが解体され姿を消していく中で、旧乾邸は結果的に神戸市が保存(いずれ公開)するに至った経緯にはアメニティの並々ならぬ情熱と智慧が齎したものと感心しました。

ヴォーリス六甲山荘も80年近い年数を経過しながら存在感のある建物として、今後とも当グループがしっかりと管理運営し、自分たちで楽しみながら、市民の方々にも公開して行かなくてはいけないと思いました。時間が取ればもう少し参加したいとも思いつつ...



六甲山荘たより

5月の六甲山荘

6月1日(土)六甲山荘を貸切にしてウェディングが行われました。「森のなかで」というイメージで、この山荘を選ばれたお二人は、何ヶ月前から打ち合わせを重ねて当日をむかえられました。心配された雨もふらず、花をいっぱい飾って、ケータリングのおいしいそうな食事と飲み物がサービスされ、山荘が華やかでいた一日でした。すてきなカップルでしたよ。

ウェディングに使われるのは初めてで、スタッフも楽しくお手伝いさせていただきました。



木々のなかのウェディングパーティ

